

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年08月05日

計画の名称	安全・安心な芦屋の公園づくり（防災・安全）															
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	芦屋市															
計画の目標	芦屋市公園施設長寿命化計画に基づき公園施設の予防保全的な維持管理・改築を行うことで、誰もが安全に安心して利用できる公園づくりを推進する。 また、公園利用者の安全・安心の確保等を目的とし公園のトイレや、出入口と主要な施設を結ぶ園路等のバリアフリー化を進める。															
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		275	A	275	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）			0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H33末	H35末
1	平成28年8月に策定した芦屋市公園施設長寿命化計画を，計画策定から5か年が経過するのに合わせて，見直しを実施する。			
	芦屋市公園施設長寿命化計画に記載されている公園施設の見直し率	0%	100%	100%
	長寿命化計画を見直しされた施設を有する都市公園数（箇所） / 長寿命化計画に計上されている都市公園数（箇所）			
2	平成35年度までに180基の施設について公園施設長寿命化計画に基づく公園施設の改築を行い，平成35年度までに改築が必要な公園施設に対する改築された施設数の割合を0%から100%にする。			
	公園施設長寿命化計画に基づき平成31年度から35年度までの間に改築が必要な公園施設の割合	0%	47%	100%
	長寿命化計画に記載されている公園施設で改築された施設数（箇所） / 改築の必要のある施設数（箇所）			
3	バリアフリー化が実現する公園トイレ及び園路等の割合の増加			
	バリアフリー化が実現する公園トイレ及び園路等の割合	0%	0%	100%
	バリアフリー化が実現した公園トイレ及び園路等の数（箇所） / バリアフリー化の計画がある公園トイレ及び園路等の数（箇所）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	芦屋市	直接	芦屋市	-	-	芦屋市公園施設長寿命化計画策定調査（１ - A１ - １）	公園施設長寿命化計画策定	芦屋市			■				26		-
	A12-002	公園	一般	芦屋市	直接	芦屋市	-	-	芦屋市公園施設長寿命化対策支援事業（１ - A１ - ２）	春日公園等14箇所における遊具の改築 等	芦屋市		■	■	■	■	■	140		策定済
	A12-003	公園	一般	芦屋市	直接	芦屋市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業（５か年老朽）	健全度C判定かつ耐用年数の9割を超過した公園遊具等の緊急度の高い老朽化した公園施設の改修N=10公園	芦屋市			■	■	■		65		策定済
	A12-004	公園	一般	芦屋市	直接	芦屋市	-	-	芦屋市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	公園のトイレや園路等のバリアフリー化N=3箇所	芦屋市						■	44		-
											小計							275		
										合計							275			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
芦屋市公園事業関連部局において、目標の達成状況やその要因を確認し事後評価を実施。	令和7年8月
	公表の方法 芦屋市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・都市公園にある公園施設について、長寿命化計画を策定したことにより、施設ごとの補修・更新のタイミングを把握することができた。また、10年間に必要な維持補修・更新に要する費用を明らかにすることで、各年次に必要な費用の平準化を図ることができた。 ・計画に沿った進捗ではないが、長寿命化計画で予定されている施設を更新することで、安全に安心して利用できる公園施設が増えた。 ・公園施設のバリアフリー化を進めることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

市民の誰もが安全かつ安心して利用できる公園を整備するために、芦屋市公園施設長寿命化計画に基づく施設の補修・更新や公園のバリアフリー化を継続して進めていく必要がある。
単に施設を更新するのではなく、子どもや高齢者などの施設利用者にアンケート等により直接意見を伺うことで、ニーズに合った施設更新を行うとともに、公園改修へ参画する意識を持ってもらい、公園への愛着につながる取り組み方をしていく必要がある。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	100		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	100		
	最 終 目標値	100%	令和6年度以降に更新を位置づけていた遊具の健全度が悪化し、計画年度を前倒して更新を行った。そのため、令和5年度末までに予定していた遊具更新の一部を令和6年度以降に変更したことにより、目標値と差が出ることとなった。
	最 終 実績値	60%	
3	100		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	